

小中連携語彙指導の改善・充実

1 目標の系統性

		小学校			中学校		
目	〔知識及び技能〕(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項より			〔知識及び技能〕(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項			
	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年	
標	オ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。	オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。	オ 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。	ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	
	小中関連	様子や行動、気持ちや性格を表す語句 イ 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと	思考に関わる語句 類義語や対義語などについては「語句と語句との関係」で扱う	動詞や形容詞、形容動詞、名詞、副詞など様々な語句 抽象的な概念を表す語句 類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句	慣用句		

2 語彙を豊かにするための日常的な手だて

手だて	活動	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	中学校第1学年	中学校第2学年	中学校第3学年
① 語句の量を増す	書く活動	文章を書く機会を多く設定するとともに、具体的な書き方の指導を積み重ね習熟を図る。	様子や気持ちを伝える文章を書く活動を多く設定する。	目的に応じて自分の考えを伝える文章を書く活動を多く設定する。			
	国語辞典		国語辞書の活用を日常化して語彙力を高める。	国語辞典を日常的に活用したり、東京ベシックドリル等を活用したりして語彙を習得させる。			
	言葉集め	身近なことを表す言葉集めを行う。	様子や気持ちを表す言葉集めを行う。				
	感想語彙	感想語彙を増やす。言葉カードから自分の気持ちに合うものを選んで書く。	感想語彙を増やす。言葉カードの「使えるようにしたい言葉・わかるようにしたい言葉」の組み合わせを考える。	感想語彙を増やす。言葉カードを活用し、簡単な形容詞を使わずに、自分の言葉で表現する。			
② 語句のまとまりや関係・構成や変化について理解する	読書	読書時間を継続して確保し、文章に慣れさせていく。	読書時間を継続して確保し、文章に慣れ、読み取り速度をあげ、内容理解につなげていく。	読書時間を継続して確保すると共に、分かりやすい説明文を使って中心となる語彙を捉えて、段落相互の関係や事実と意見との関係を考え読むことを意図的に行う。			
	つながり言葉	つながり言葉（接続語）の語彙を増やす。つながり言葉集の中から言葉を選び話す。	つながり言葉（接続語）の語彙を増やす。つながり言葉集の中からいくつかの言葉を選び話す。	つながり言葉（接続語）の語彙を増やす。つながり言葉集を活用し、目的に応じて自分の考えが伝わるように話す。			